

第76回定期地方大会③

9月23日(金・祝) 10時半～県教育会館

国労

蘇我運輸区分会ニュース

仲間の発言に学ぼう！

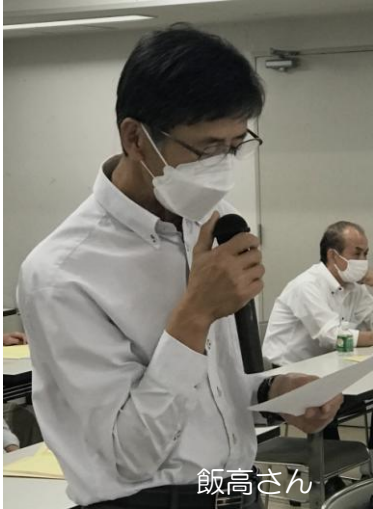
当分会より

代議員の竜崎分会長がやむなく欠席のため、飯高副委員長が代わりに出席し、発言も果たしました。

①分会再編については、地本提案の運輸区同士の再編では、3年後に更なる再編をしなければならぬ状況なので、当分会としては地域分会を選択した方が良いのではないかとこの方

向で議論を進めている。

②未払い賃金の支払いを勝ち取った取り組みについて、7月1日のDTAC(乗務員の作業指示書である行路、時刻表を入れたアプリ)不具合の際、始業時間前直に指示があり、それを超勤として認めさせたもの。当初、支社側は「超勤ではない」「訓練で説明している」とい



飯高さん

う回答であつたが、地本からの申し入れにより、「訓練はなかった」「職場に

より対応が違っていた」ことが判明し(超勤として認めさせ)未払い賃金が支払われた。(他労組代表が務める)社員代表とも話をし「会社の行き過ぎたコスト削減が、サービス残業に対する認識をマヒさせているのではないか。このようなことが二度と起こらないように取り組むこと」を会社に要請した。

習志野運輸区より

運輸区乗務員、構内、CTS、メディア各職場から構成される分会。メディアでは、コロナ対応の勤務体系で、在宅勤務が増えている。JRは「危機こそ最大のチャ

ンス」と色々な施策を実施しているが、少しでも歯止めをかけられないものか。

他、統括センターの予備期間勤務、JEESSの要員問題での交渉が、労使間協議を楯に行なわれないことの報告・・・等々。

千葉運輸区より

次から次への赤字攻撃で、青年たちは右往左往している感じ。若者たちとキャンプで大いに語り合い、色々なことを見つけられた。20代と30代では意識が微妙に違うこと、世の中の様々なことに関しても、抵抗するよりアクラメの方が大きいこと・・・等。

自分たちは過去のアノラック闘争(会社のアノラックを着てはいけ



ないといった理不尽な攻撃に対して抵抗した)などの経験から自信を作ってきたが、他労組も含め、若者たちにはそれが無い？創意工夫という意識が欠けている？次はどうするといった皆で考えていく取り組みが必要だと思った。職場にどう労働運動を進めていくのか?! 分会再編に関しては、再編して何をやるのか。あと2、3年しかない中で、頑張れる何かがないと、前向きにはなれない。運輸区職場全体で集まり(この問題を)話し合ってみよう。

おかしいと思ったら、おどろいたときに相談してね！

☆ (飯高さん)未払い賃金については、2年前にさかのぼって請求出来るので、調査も必要・・・と締めくくられました。